昭和40年4月5日第三種郵便物認可
（旧「公衆衛生」）

2019年11月1日発行
第608号（通算）
発行：奇数月1日
会員購読料：1月10円(年間60円)
一般購読は別途送料

環境づくり・健康づくりのコミュニティ情報紙

環境と健康

発行者
一般財団法人 ～みんなの生命（いのち）をまもりたい～
広島県環境保健協会
佐藤　均
広島市中区広瀬北町9番1号
郵便番号　730−8631
電話　082−293−1511番
振替口座01380−2−27511
URL　http://www.kanhokyo.or.jp/

112の優秀な作品を選定

環境と健康のポスター・標語コンクール

多くの作品の中から選考委員がポスター（上）、標　語（右）を審査

「環境と健康のポスター・標語コンクール」は、今年度から広島県、広島県教育委員会、広島県環境保全公社と共催し、広島県医師会、広島県歯科医師会、広島県薬剤師会の後援で実施しています。

今年度は24市町公衛協の呼びかけに、小学校217校、中学校52校が参加し、3万6千780点の応募がありました。

その中から、公衛協が行った1次選考で選ばれた724点の作品を10月8日に開催した「令和元年度環境と健康のポスター・標語コンクール選考委員会」で11人の選考委員が選考要領に則って厳正に選考を行い、112点（ポスター51点・標語61点）の優秀な作品が選ばれました。

受賞した作品は11月21日に府中市で開催する第60回広島県公衆衛生大会の席上で、賞状、トロフィー、副賞の贈呈を行います。また、会場内には大会参加者が観覧できるよう、受賞作品の展示を行います。

受賞作品の一覧は、「環境と健康」の号外としても大会の参加者や関係の方々に配布いたしますので、ご覧ください。

その後、応募作品は、各公衛協が住民への啓発として、作品の展示会、イベントでの表彰式の開催、公衛協だより・市町広報誌への掲載、啓発グッズの作成・配布など活用していきます。

新たな全県共通事業へ

不法投棄防止　口腔保健　をテーマに試行

安芸太田町公衛協が実施している不法投棄防止の取り組み

ここ数年、実施から10年を迎える全県共通事業重点メニューの刷新について代表者会議で議論し、地域課題の解決につながる取り組みの研究・提案を行ってきました。

今年度、複数の公衛協に協力いただいて、2つの事業の取り組みを始めましたのでお知らせします。

地域活動支援センターは、地区衛生組織代表者会議の運営や全県共通事業重点メニューの推進などを通じて、公衛協を主体とした健康づくり・環境づくりを支援しています。

全県共通事業重点メニューは、支部や地区学区公衛協など小さな単位でも地域課題を解決する取り組みが実施できるよう、テーマを定め、環保協からノウハウや資材を提供する取り組みで、今年度は、1万人のエコチェック事業や公衛協発・ウォーキング事業など5つを実施しています。

新たな取り組みとして2つの事業を紹介します。

○見てますよ！不法投棄抑止の地域づくり事業

これまでも不法投棄防止パトロールや啓発活動、清掃活動などを実施してきましたが、依然として悪質な不法投棄やポイ捨ての改善がみられない地点もあります。本事業では、これまでの活動に加え、監視カメラやセンサーライト・看板を設置することで、不法投棄を抑止する効果を検証します。

○歯と口腔から始める健康生活事業

健康で生涯にわたる「生活の質（QOL）」の維持向上のため、歯と口腔に関する知識を持つ推進委員を育成し、口腔ケアの方法や必要性などの啓発を通じて、歯科検診の受診率向上に取り組みます。県内の歯科健診受診率は67・7％（60歳代）で、県が目標とする80％以上に達していないことから、受診率向上に向けた学習会を県内各地で開催し、推進委員をはじめ多くの方に歯と口腔に対する意識向上を図り、受診率80％を目指します。

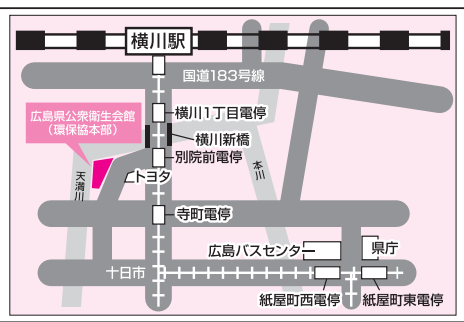
◇　◇

年内に協力いただいた取り組みの結果は12月の専門部会、1月の定例会で報告し、地域課題の解決に有効かどうかを協議しながら、取り組みを広げ、令和3年度には新たな全県共通事業重点メニューを提案する計画です。

（地域活動支援センター）

琴線歌（きんせんか）

転炉スラグの利材化

私達の身の回の金属製品は、鉄鉱石をはじめとした鉱石が原料として使用されています。この鉄鉱石から鉄を取り出し、純度を高め、必要な材料にすることを精錬といいます。この時に、「スラグ」と呼ばれる産業副産物が大量に発生していることをご存じでしょうか。スラグは、高炉で鉄鉱石を融解する際に発生する高炉スラグと、生石灰などの副原料を加えて粘り強い鋼に精錬する際に発生する転炉スラグに大別されます▼産業副産物の転炉スラグは、路盤材、土木用材、地盤改良材などの建設材料として利用されています。しかし、転炉スラグに含まれる遊離酸化カルシウムや遊離酸化マグネシウムは、水と接触すると水酸化カルシウムと水酸化マグネシウムになります。この反応過程で体積膨張が起こり、その影響で構造物にひび割れやゆがみなどが生じるため、有効利用の妨げとなっています▼現在、転炉スラグは建設材料として利用されていますが、遊離酸化カルシウムや遊離酸化マグネシウムの少ない転炉スラグを選別し、さらに蒸気エージング処理により水和反応をはやめて利用しています。しかし、蒸気エージングを行っても、全ての酸化カルシウムと酸化マグネシウムを取り除くことは、避けられないのが実態です▼転炉スラグの膨張問題を払拭することができれば、より多くの転炉スラグを路盤材や人工石等に有効利用することが可能となり、転炉スラグの利材化に貢献できます。また、資源を有効利用することは、循環型社会を構築するうえで重要な役割をはたすものと考えられて、研究に取り組まれています。（福山大学　工学部教授　田辺和康）

一般財団法人 ～みんなの生命（いのち）をまもりたい～
広島県環境保健協会
〒730-8631 広島市中区広瀬北町９番１号（広島県公衆衛生会館）
TEL:082(293)1511　［大代表］　FAX:082(293)1520
かんほきょう　検索
基本理念　～みんなの生命（いのち）をまもりたい～
私たちは、健康づくりと住みよい環境づくりに取り組み、地域社会の発展に貢献します。